

2020年12月期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2021年2月15日

1. 2020年12月期 業績の概要
2. 2021年12月期 業績予想

1. 2020年12月期 業績の概要

連結業績への新型コロナウイルスおよびその他影響

<国内>

消費増税前駆け込み需要の反動減および

新型コロナウイルス影響による展示会中止をはじめとする営業活動自粛などにより減収

<海外>

- 北米 : 新型コロナウイルス影響によるコンパクトトラクタの巣ごもり特需はあったものの、上期までの仕入エンジン入荷遅れに伴うOEM先への出荷減影響により減収
- 欧州 : 春先のロックダウン影響があったものの下期からは回復。加えて連結子会社の決算期統一(15ヶ月決算)や為替影響により増収
- 中国 : 田植機が好調に推移
- アセアン : タイでは干ばつ等の天候影響が徐々に薄れてきたものの、コロナ影響による農家所得の低下に伴う減収
インドネシアでは入札の減少により減収
- アジア : 韓国、台湾が好調に推移

<新型コロナウイルス影響(当社分析)>

売上高影響額: 国内△33億円、海外△9億円、計△42億円

連結業績の概要

ISEKI

(2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位: 億円、%)

	19/12期		20/12期		前期比	※ 予想比
	実績	比率	実績	比率		
売上高	1,498	100.0	1,493	100.0	△ 5	+ 48
(国内)	1,177	78.5	1,159	77.6	△ 18	+ 14
(海外)	321	21.5	333	22.4	+ 12	+ 33
営業利益	27	1.8	20	1.4	△ 6	+ 9
経常利益	11	0.7	17	1.1	+ 5	+ 15
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	0.5	△56	-	△ 63	△ 58
為替平均 レート (円)	米ドル	109.3	107.0		△2.3	+0.5
	ユーロ	121.6	121.5		△0.1	+2.7

※予想比: 2020年8月6日公表予想との対比

国内売上高



前期比
△18億円

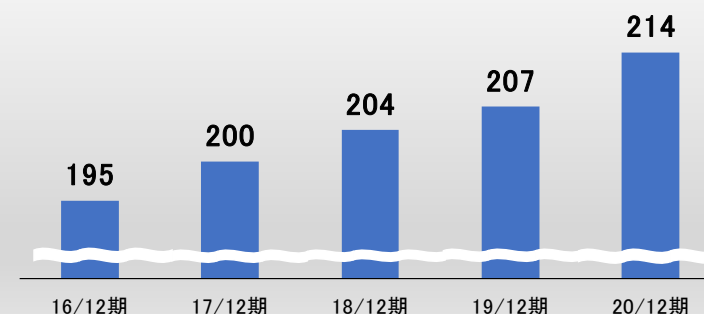
農機製品は消費増税前駆け込み需要の反動減と新型コロナウイルス影響により減収
部品・修理収入は堅調に推移、施設は大型物件が完工したものの全体では減収

(単位:億円)		19/12期 実績	20/12期 実績	前期比		※ 予想比
					備考	
農機 製品 関連	整地機	253	228	△ 24	トラクタ: △23	△ 8
	栽培機	90	88	△ 1		+ 4
	収穫調製機	185	168	△ 17	コンバイン: △13	± 0
	小計	530	486	△ 43		△ 2
	作業機	200	204	+ 3		+ 14
	部品	150	156	+ 6		+ 3
	修理収入	57	58	+ 1		± 0
	小計	408	420	+ 11		+ 18
	計	938	906	△ 31		+ 15
	施設工事	45	61	+ 15		△ 1
その他農業関連	193	191	△ 2		± 0	
合計	1,177	1,159	△ 18		+ 14	

主な増減要因(前期比)

- ✓ 農機製品は、消費増税前駆け込み需要の反動減、新型コロナウイルス影響による展示会中止や営業活動自粛により43億円の減収
- ✓ 経営継続補助金関連による作業機の増収
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移
- ✓ 施設は大型物件が完工

■ 部品、修理収入推移 (1~12月累計、億円)



※予想比:2020年8月6日公表予想との対比

海外売上高

前期比
+12億円

北米、アセアンの減少はあるも韓国、台湾、中国向け売上増加により全体では増収

(単位:億円)	19/12期 実績	20/12期 実績	前期比		※ 予想比
				備考	
北 米	126	122	△ 4	トラクタ:△4	+ 5
欧 州	102	103	+ 1	トラクタ:+4 芝刈機:△3	+ 10
中 国	1	8	+ 6	田植機:+6	+ 2
アセアン	16	7	△ 8	トラクタ:△6	± 0
その他	34	44	+ 9	トラクタ:+2 コンバイン:+8	± 0
製品 計	282	286	+ 4		+ 17
部品その他	39	47	+ 7		+ 16
連結売上高合計	321	333	+ 12		+ 33

主な増減要因(前期比)	
✓ 北 米	コンパクトトラクタの巣ごもり特需はあったものの、上期までのエンジン入荷遅れによる出荷減影響により減収
✓ 欧 州	春先のロックダウン影響あるも下期は回復傾向、連結子会社の決算期統一(15ヶ月決算)や為替影響もあり増収
✓ 中 国	田植機半製品出荷増により増収
✓ アセアン	タイでは、干ばつ等の天候影響が徐々に薄れてきたものの、コロナ影響による農家所得の低下に伴う減収 インドネシアでは、入札の減少により減収
✓ その 他	韓国および台湾向け出荷増により増収

※予想比:2020年8月6日公表予想との対比

営業利益

前期比
△6億円

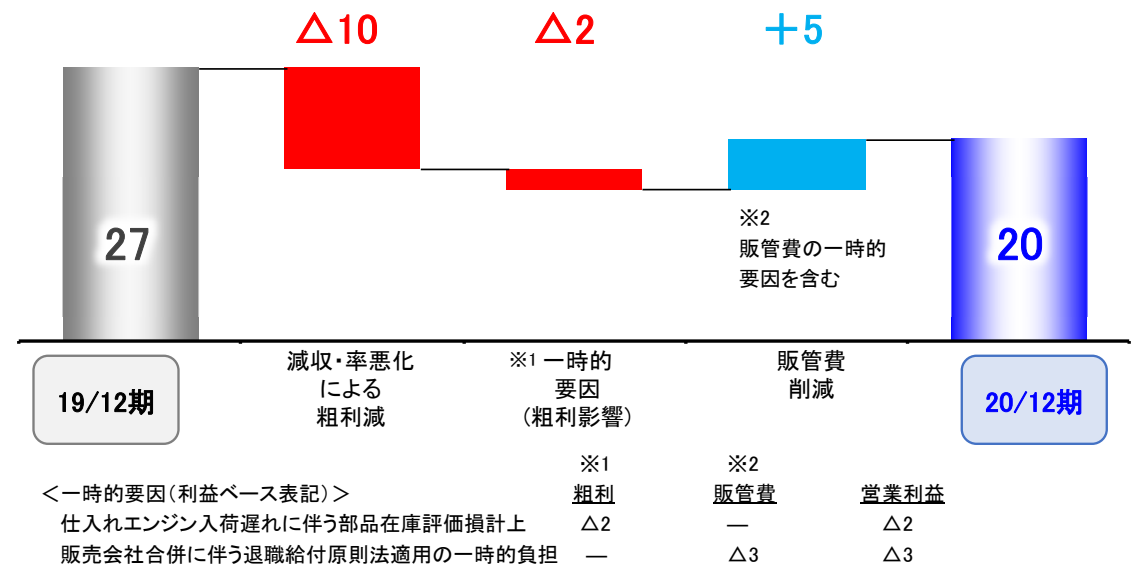
販管費削減はあるものの減収による粗利益減少や部品在庫評価損計上、子会社合併に伴う退職給付計算原則適用の一時的負担等により前期比減益

(単位:億円、%)

【営業利益増減内訳(前期比)】

	19/12期 実績	20/12期 実績	前期比	※予想比
売上高	1,498	1,493	△5	+48
売上総利益	445	434	△10	+11
粗利率	29.7%	29.1%	△0.6%	△0.2%
販管費	417	413	△3	+1
人件費	246	251	+4	+3
その他経費	170	162	△7	△1
営業利益	27	20	△6	+9

※予想比:2020年8月6日公表予想との対比



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+5.5	+2.9	+1.6	+0.9

経常利益、当期純利益

経常利益
前期比
+5億円

経常利益：為替差損および持分法投資損失縮小により増益

税前利益：持分変動利益計上はあったものの、減損損失計上により減益

(単位：億円)

	19/12期 実績	20/12期 実績	前期比	※予想比
営業利益	27	20	△6	+9
金融収支	△7	△6	+0	+0
その他営業外損益	△8	3	+11	+5
経常利益	11	17	+5	+15
特別利益	5	6	+1	+0
特別損失	△3	△94	△91	△90
税前利益	13	△71	△84	△75
税、税調整額	△5	14	+20	+16
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	△56	△63	△58

営業外損益増減内訳(前期比)

持分法投資損失の縮小 +10億円

・ご参考)持分法関連

(単位：億円)

	19/12期 実績	20/12期 実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△14	△4	+10
持分変動損益 (特別)	-	6	+6

※予想比：2020年8月6日公表予想との対比

固定資産の減損損失

■減損損失の計上

- ① 当社個社 : 連結子会社(井関松山製造所、井関熊本製造所)への賃貸不動産について、土地時価が下落
- ② 連結子会社 : 井関松山製造所および井関熊本製造所事業用資産について、事業環境変化に伴い収益性が低下
- ③ 連結決算 : 連結ベースでの事業収益に基づく減損損失に見直し

【特別損失計上額】

(単位:億円)

	井関農機、井関松山製造所、井関熊本製造所			連結決算 小計	その他	連結決算 計
	当社 個別決算	連結子会社 個別決算	連結調整			
固定資産減損損失	△107	△35	53	△90	△3	△93
関係会社株式評価損 ・貸倒引当金繰入額	△49	—	49	—	—	—
計	△156	△35	102	△90	△3	△93

■結果

減損損失の計上により結果的に固定資産を圧縮、在庫削減と合わせバランスシート改善
また、2021年以降の償却費などの経費を軽減

2. 2021年12月期 業績予想

2021年12月期 連結業績予想

(単位:億円)

	19/12期		20/12期		21/12期		前期比
	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高	1,498	100.0	1,493	100.0	1,535	100.0	+ 41
(国内)	1,177	78.5	1,159	77.6	1,179	76.8	+ 19
(海外)	321	21.5	333	22.4	356	23.2	+ 22
営業利益	27	1.8	20	1.4	36	2.3	+ 15
経常利益	11	0.7	17	1.1	35	2.3	+ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	0.5	△56	-	24	1.6	+ 80
為替平均レート (円)	米ドル	109.3	107.0		105.0		△2.0
	ユーロ	121.6	121.5		123.0		+1.5
為替感応度 (百万円、営業利益ベース)	米ドル				△5		
	ユーロ				+12		

国内売上高予想

国内
売上高

農業の構造変化に対応した大型機械、スマート農機に加え、サービス・サポート対応の推進強化と、堅調な部品・修理収入により増収を見込む

(単位:億円)

		19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 予想	前期比 増減	
農機 関連	農機 製品	整地機	253	228	238	+ 9
		栽培機	90	88	93	+ 4
		収穫調製機	185	168	178	+ 9
		小計	530	486	509	+ 22
	農機 関連	作業機	200	204	201	△ 3
		部品	150	156	157	± 0
		修理収入	57	58	61	+ 2
		小計	408	420	419	△ 1
		計	938	906	928	+ 21
		施設工事	45	61	55	△ 6
	その他農業関連	193	191	196	+ 4	
	合計	1,177	1,159	1,179	+ 19	

海外売上高予想

ISEKI

海外
売上高

北米コロナ禍巣ごもり需要の継続、昨年12月に実施したアセアン販売代理店の
連結子会社化などにより、増収を見込む

(単位:億円)

	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 予想	前期比 増減
北米	132	128	138	+ 9
欧州	128	139	140	± 0
アジア	55	62	74	+ 11
その他	5	3	4	± 0
連結売上高合計	321	333	356	+ 22

* 中国、アセアン、東アジア

* オセアニアほか

注) 2021年12月期より、海外売上高の集計区分を以下のとおり変更いたします。

- ①地域区分の変更 ・アジア:「中国」「アセアン」「東アジア」 ・その他:「オセアニア」ほか
- ②「部品その他」を地域別に集計

連結営業利益・配当予想

業績
予想

販管費の増加はあるものの、増収による売上総利益の増加に加え、構造改革と経営効率化に全社で取り組むことで、増益を見込む

1. 営業利益

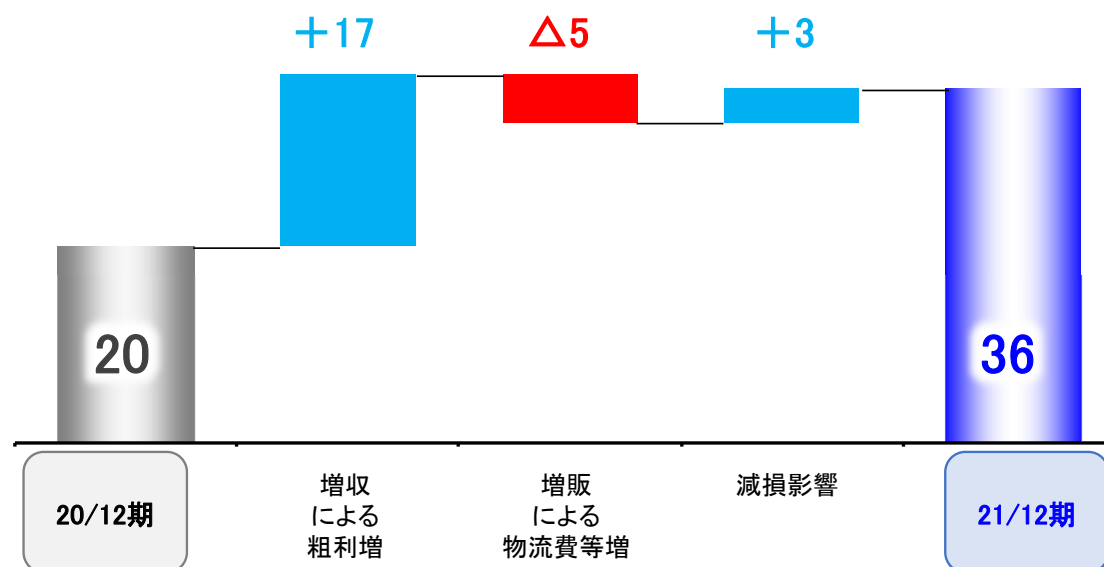
	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 予想	前期比 増減
売上高	1,498	1,493	1,535	+ 41
売上総利益	445	434	464	+ 29
粗利率	29.7%	29.1%	30.2%	+1.1%
販管費	417	413	428	+ 14
人件費	246	251	249	△ 2
その他経費	170	162	179	+ 16
営業利益	27	20	36	+ 15

2. 配当予想

(単位:円)

	19/12期 実績	20/12期 予定	21/12期 予想
期末配当	30	0	未定

【営業利益増減内訳(前期比)】



将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。